	二美品类	等専門学校	開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科	 日 7	+ペレーティングシステ <i>L</i>			
科目基礎		<u> </u>	<u> </u>	1 12 1HO 1 FIX (/×/			, .c , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	EIFE	0070			NDEA		1 / 2/1/2				
科目番号		0079			科目区分		/ 必修				
授業形態		授業	- 117 00 1		単位の種別と単位						
開設学科		電気情報工	学科	対象学年	5						
開設期		後期			週時間数	2					
教科書/教	材	野口健一郎	3, 「IT TEXT オ/	ペレーティングシス	ステム」(オーム社)						
担当教員		舩木 英岳									
到達目標	Ē										
		想メモリ, ペー ィ, システムの	- ジングについて訪)性能評価について	説明できる 説明できる							
ルーブレ	ノック										
	-		理想的な到達レベルの目安			いの目安		未到達レベルの目安			
			メモリ管理,仮想メモリ,ページ		メモリ管理,仮想メモリ,ページ			メモリ管理,仮想メモリ,ペーシ			
評価項目1			ングについて説明できる		ングについて大まかに説明できる			ングについて説明できない			
評価項目2	1		情報セキュリティ	ィ <u>,</u> システムの性 て説明できる	情報セキュリティ,システムの性 能評価について大まかに説明でき			情報セキュリティ,システムの性 能評価について説明できない			
 学科の到	り 連目標 ^り	項目との関係			ි						
学習・教育	育到達度目	標 (H)									
教育方法	法等										
概要		プログラム を利用した 【Course The goal o	目的】 ーティングシステム(OS) の本質的な役割は,コンピュータシステムを抽象化することである。利用者や応用 ラムから使うためのインタフェースの主要な概念や動作原理について,基礎的な事項を理解する。実際にOS機能 したアプリケーションシステムを設計する上で役立てるようにする。 rse Objectives】 oal of the lecture is to present the concepts, theory, techniques and implementation of operating ns that are basic software on computer systems.								
授業の進め方・方法		【学習方法 1.事前に 2.授業で 3.授業に	講義を中心に授業を進める。講義の間に、重要な内容について適宜学生に質問して、理解しているかどうかを確認する。また、必要に応じて時間外学習としてレポート課題を課す。 【学習方法】 1. 事前にシラバスを見て教材の該当個所を読み、疑問点を明確にする。 2. 授業では、板書の説明は必ずノートにとり、わからないところがあれば質問する。質問に答えられるようにする。 3. 授業に関連したレボート課題を、復習を兼ねた自己学習の一環として課す。								
注意点		前期・後期・後期・後期・後期・後期・場合の期・高の期・高の関する。関するとは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	【定期試験の実施方法】 前期・後期とも中間・期末の2回の試験を行う。試験時間は50分とする。 【成績の評価方法・評価基準】 中間・期末ともに定期試験の成績を60%,レポート課題(宿題を含む)を40%とし,その合計を100点満点として 評価する。また,欠席1回につき2点の減点とする。中間・期末の評価の平均値を総合評価とする。 到達目標に基づき,多重プロセス,メモリ管理,仮想メモリ,ページングおよび情報セキュリティとシステム性能評価の理解力についての到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 レポートは必ず指定された期日の授業開始時に提出すること。指定された期日より後に提出されたレポートは減点とする。 【連絡先】 研究室 A棟3階(A-314) 内線電話:8968 e-mail: funakiアットマークmaizuru-ct.ac.jp(アットマークは@に変えること。)								
		【連絡先】 研 究 室 内線電話:	A棟3階(A-314) 8968					に提出されたレポートは減点と			
	属性・履(【連絡先】 研 究 室 内線電話:	A棟3階(A-314) 8968					に提出されたレポートは減点と			
授業の属	<u>属性・履行</u> -ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分	A棟3階(A-314) 8968					に提出されたレポートは減点と			
授業の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク		(アットマークは@						
受業の属	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用		(アットマークは@ □ 遠隔授業対応)に変えるこ	こと。)				
受業の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用	maizuru-ct.ac.jp	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 ;)に変えるこ (で変えるこ (できる)	こと。)				
受 業 の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 多上の区分 ニング	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用 受業内容 3重プロセス(プロ	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅	(アットマークは@□ 遠隔授業対応)に変えるこ 関ごとの到 1	こと。)				
受 業 の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用 □ ICT 利用 受業内容 3重プロセス(プロ 3重プロセス(プロ	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 は) ::排他制御))に変えるこ (で変えるこ (できる)	こと。)				
受業の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 多上の区分 ニング	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応)に変えるこ 関ごとの到 1	こと。)				
受業の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 担 1週 多 2週 多	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用 受業内容 3重プロセス(プロ 3重プロセス(プロ ブロセス間通信)	maizuru-ct.ac.jp]セスの生成と消滅]セス間の同期機能]セス間の同期機能	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 ば) ②: 排他制御) ②: 事象の連絡	して変えるこ <u>周ごとの到</u> 1 1	こと。)				
受業の属	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研究室話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 担 3週 多 3週 多 4週 >	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク ロ ICT 利用 受業内容 ラ重プロセス(プロション・フロセス(プロション・フロセス(プロフロセス(プロセス(プロセス(プロセス(プロセス(プロセス(プロセス)の管理(メモリの管理(メモリの管理(メモリの管理(メモ	maizuru-ct.ac.jp]セスの生成と消滅]セス間の同期機能]セス間の同期機能]セス間の同期機能	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 は) E: 排他制御) E: 事象の連絡 -ティション)	周ごとの到 1 1 1	こと。)				
授業の属 〕 アクテ	-ィブラー:	【連絡先】 研究室 内線電話: e-mail: fu 修上の区分 こング 週 担 2週 多 3週 多 4週 > 5週 >	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク ロ ICT 利用 受業内容 を重プロセス(プロ を重プロセス(プロ を重プロセス(プロ では、では がよりの管理(メモ は、モリの管理(メモ	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 ラグリーティション)	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 は) と:排他制御) と:事象の連絡 -ティション)	して変えるこ <u>周ごとの到</u> 1 1	こと。)				
受業の属 アクテ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研究電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 担 週 多 3週 多 4週 2	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用 ②業内容 3重プロセス(プロ 3重プロセス(プロ 3重プロセス(プロ 3年プロセス(プロ 3年プロセス(プロ 3年では、イーリの管理(メモリの管理(メモリの管理(オー	maizuru-ct.ac.jp]セスの生成と消滅]セス間の同期機能]セス間の同期機能]セス間の同期機能	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 域) : 排他制御) : 事象の連絡 -ティション)	周ごとの到; 1 1 1 1	こと。)				
受業の属 アクテ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研究電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 担 2週 多 3週 9 4週 > 5週 >	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク ロ ICT 利用 U ICT 利用 受業内容 を重プロセス(プロ を重プロセス(プロ では、プロセス間通信) メモリの管理(メモ メモリの管理(メモ メモリの管理(オー リカ当)	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 ラグリーティション)	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 域) : 排他制御) : 事象の連絡 -ティション)	周ごとの到 1 1 1	こと。)				
授業の属 アクテ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研究電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 担 2週 多 3週 9 4週 > 5週 >	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用 ②業内容 3重プロセス(プロ 3重プロセス(プロ 3重プロセス(プロ 3年プロセス(プロ 3年プロセス(プロ 3年では、イーリの管理(メモリの管理(メモリの管理(オー	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 ラグリーティション)	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 は) ②: 排他制御) ②: 事象の連絡 -ティション) ージ化によるメモ	周ごとの到; 1 1 1 1	こと。)				
授業の属□ アクテ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研究電話: fu 修上の区分 ニング 週 1週 多 3週 多 3週 多 4週 2 5週 2 6週 2	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク ロ ICT 利用 U ICT 利用 受業内容 を重プロセス(プロ を重プロセス(プロ では、プロセス間通信) メモリの管理(メモ メモリの管理(メモ メモリの管理(オー リカ当)	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 ラグリーティション)	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 は) ②: 排他制御) ②: 事象の連絡 -ティション) ージ化によるメモ	周ごとの到け 1 1 1 1 1 1	こと。)				
授業の属	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研究電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 1週 多 3週 多 4週 2 5週 2 6週 2 7週 仮 8週 中	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク ICT 利用 W業内容 Mm プロセス(プロを Mm プロセス(プロセス 関通信) Vモリの管理(メモソの管理(メモリの管理(オーリの管理(オーリカー) 対しま当) 対しままり いいまする	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 ミリ資源,静的パー ラパーティション) -バレイ方式 , ペー	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応 は) ②: 排他制御) ②: 事象の連絡 -ティション) ージ化によるメモ	周ごとの到 1 1 1 1 1 1	こと。)				
授業の属 アクテ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【連絡先】 研内線電話: e-mail: fu 修上の区分 ニング 週 1週 3 3週 4週 2 5週 3 6週 2 7週 0 8週 中 9週 0	A棟3階(A-314) 8968 nakiアットマーク □ ICT 利用 □ ICT NI	maizuru-ct.ac.jp コセスの生成と消滅 コセス間の同期機能 コセス間の同期機能 ミリ資源,静的パー ラパーティション) -バレイ方式 , ペー	(アットマークは@ □ 遠隔授業対応	周ごとの到け 1 1 1 1 1 1	こと。)				

		12	週	仮想ン	メモリ(ペー)	ジ置き換えアルゴ!	2						
		13週 ネッット			トワークの制徒 フーク)	2							
		14	週	情報t	セキュリティ!	Jスク, セキュア(DS .	2					
		15	週	シスラ	テム性能の要素	E R		2					
		16	週	(15 期末記	週目の後に期 試験返却・達成	末試験を実施) 戊度確認							
モデルコ	アカ	リキュ	ラムの	学習	内容と到達	目標							
分類	類 分野				学習内容	学習内容の到達目標 到達レベル 授業週						授業週	
専門的能力	分野 門工	野別の専 「情報系分」		分野	計算機工学	メモリシステムを実現するために考案された主要な技術を説明できる。							
評価割合													
	試験		発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計				
総合評価割合 60		60		0		0	0	40	0)		100	
基礎的能力	基礎的能力 0			0		0	0	0	0 0		0		
専門的能力	5 60		0		0	0	40	0	1		100		
分野横断的	分野横断的能力 0		0		0	0	0	0			0		